

「知と文化を誇り力強く躍動する関西」の実現に向けて

～ 平成 21 年度 近畿圏広域地方計画の推進状況について (概要版) ～

近畿圏広域地方計画の推進状況について

近畿圏広域地方計画は、計画のモニタリングとして、毎年度、その推進状況を検証していく。今回は、計画策定後初のモニタリングとして、関西を取り巻く状況や、主要プロジェクトに関係する平成 21 年度の取組について、近畿圏広域地方計画協議会の構成機関との連携の下、情報を集約し、取りまとめた。(なお、取組内容をより適切に記載するため、一部の取組事例については、平成 22 年度の取組内容も一部記載することとした。)

平成 21 年度のモニタリング結果

各地域の多様な個性を活かしながら、「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を掲げた本計画の実現へ向け、前進している。

関西の魅力発揮 (文化首都圏プロジェクト(P)、関西の魅力巡りP)

- ・歴史・文化の蓄積である「本物」の資源を活かした地域の魅力の向上・活用
(平城遷都 1300 年祭の開幕、関西ブランドの創造に向けた取組、
ビジット・ジャパン・キャンペーンなど)

関西の産業・地域力の強化、交通基盤の確保

(次世代産業を創造する「知の拠点」P、大阪湾ベイエリア再生P、広域物流ネットワークP)

- ・進む「知の拠点」の構築 (大阪駅北地区の整備推進など)
- ・物流ネットワークの充実 (第二京阪道路の全線開通など)

持続可能な地域の形成

(CO₂削減と資源循環P、水と緑の広域ネットワークP、関西を牽引する賑わい創出P、農山漁村活性化P)

- ・環境に優しいエネルギー導入の取組 (太陽光発電所(メガソーラー)の建設決定など)
- ・豊かな自然を守る取組 (魚のゆりかご水田プロジェクト、大和川の水質改善など)

安全・安心な社会の形成 (広域医療P、広域防災・危機管理P)

- ・府県を越えて広がる医療の連携 (3 府県共同運航によるドクターヘリの導入など)
- ・関係機関連携による災害対策の展開 (2 府 7 県の合同防災訓練など)

今後の方針

- ・関西の大きなポテンシャルを活かして、圏域全体としての総合力を発揮できる取組が求められる。
- ・今後、引き続き関係機関と連携して本計画の取組を進めていく。

(参考)近畿圏広域地方計画について

近畿圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき、近畿圏(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)を対象に作成した概ね 10 ヶ年間の計画であり、人口減少・高齢化時代や国際競争が激化する時代にあっても自立的に発展できる「知と文化を誇り力強く躍動する関西」を目指すものである。

関西の府県、政令市、国の関係機関、主な経済団体等からなる広域地方計画協議会の議論を経て、平成 21 年 8 月 4 日に、策定された。

：「関西ブランドの創造に向けた取組」の具体の事例については、本資料公表と同日付で別途公表。